

平成 23 年度 第 6 回理事会	
日時	開催日 平成24年 2 月 4 日（土）
出席者	理事長代行：酒井一江 理事：石田佳子、角田ふで子、氷上澄子、木村了 監事：関矢英士
審議結果 の概要	<p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 23年度の総会について 5 月 19 日（土）大田区産業会館 P10 にて行う。同時イベントについては、今後早急に検討する。詳細な準備手順については事務局より連絡。 ・ 24年度の事業・プロジェクト活動と部会運営について プロジェクトは自主参加ではなく、部会で決定したメンバーによって構成。全員参加の体制をつくる。また、地方会員は全て広報部会の所属とし、地方情報を配信する。事務局にて、細則等を修正する。 また、全ての活動は事業とし、費用は全額報告する。活動に伴う交通費等支払う努力をする。 ・ J S T の応募について 他団体との協応応募は、役割の違いによる効果を明確にできないとマイナス評価となる。今回は企画部会が中心となり、女子中高生の支援となるロールモデルと出前講座を事業として、応募書類を作成する。 ・ 震災復興支援プロジェクトについて 基金設立を宣言し、会員会費の一部は基金へまわす。基金の活用はサロンとともに、今後随時検討する。 ・ 次期体制について 関矢監事には引き続き、監事の継続を依頼、理事については、組織の若返りと会員の自負心を醸成するために、半数程度の退任と新任を検討するが、現在理事長が休養中のため、対応は柔軟に行う。 <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告 1（理事長代行） 子供の安全グループとの懇談報告。 ・ 報告 2（角田） 23 年度は会費未払者で会員資格を失う人が 15 名。総務部よりメールで伝え、その後、個人へ再度の支払い依頼を行う。 ・ 報告 3（木村） 建設経済新聞は、掲載を継続中。 ・ 報告 4（石田） 第 6 回日韓女性交流会の通訳が決定した。 ・ 報告 5（石田）

	<p>技術士第一次合格者・J A B E E 修了者ガイダンス報告。W P E T F 紹介のPPTコピー配布とサロン案内を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告6（石田） 復興支援事業の技術サロン招待対象として第13回は福島大学から2名を予定。 ・報告7（理事長代行） ダイナミックアート館の活用については希望されている活用方法を聞いていただき、協力できることがあれば行う。 ・提案（監事） 現在主催しているボランティア事業で協力できる可能性がある。 ・次回理事会 4月21日午前 場所未定 以上
--	--

平成 23 年度 第 5 回理事会	
日時	開催日 平成 23 年 12 月 10 日（土）
出席者	<p>理事長：岩熊眞起</p> <p>理事：石田佳子、角田ふで子、酒井一江、氷上澄子、木村了</p>
審議結果の概要	<p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休会会員の扱いに関する規定を設け、承認を得た。 ・震災復興支援としてのサロン支援は定期事業として今後も計画。その他具体案は息の長い事業としていることから、検討しつつ、当面バザー等積極的に開催し、基金を確保、具体的事業に振り分ける。 ・来年の日韓女性交流会に関しては会場（キャッスルプラザ）にて場所を借り簡易手前で予定。また、平日のため、参加者確保が難しいと思われるので、例年より早めに着手する。 <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告1（理事長） サイエンスアゴラは、NPO、INWES-J、日本技術士会のブースが隣接、協力しつつ各ブースの案内を実施。液状化実験（NPO）、アクアソイルの重量実験（INWES-J）など実践的な展示で子供達に好評であった。 ・報告2（理事長） 日本技術士会の男女共同参画委員会の学生向け活動と企業向け活動を行っている。 ・報告3（石田） 広報の一環として朝日新聞、建設経済新聞に掲載された会員の記事は承認をえ得てホームページへ、震災復興支援事業へ参加した女子学生からの参加報告記はニュースレターにて紹介する。 ・報告4（石田）

	<p>サロンへ女子学生招待の場合、事故時等不測の事態に対応するため「学校行事」としての参加形態をお願いすることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告 5（角田） <p>会費納入については引き続き定期的に案内メールを流す。</p> <p>(3)その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報体制を強固にするため、広報部会の分掌を再度見直す。部会体制の見直しは、12月中にMLにて希望部会を募る予定であったが、再検討する（継続審議）。 ・日本技術士会の男女共同参画委員会の事業とNPOの事業が重なる恐れがあるが、協力関係を崩さず、事業分担を考えて活動していく。 ・次回理事会 2月4日午前 場所未定 以上
--	--

平成 23 年度 第 4 回理事会	
日時	開催日 平成 23 年 10 月 22 日（土）
出席者	<p>理事長：岩熊眞起</p> <p>理事：石田佳子、角田ふで子、酒井一江、氷上澄子、木村了</p>
審議結果の概要	<p>審議結果の概要</p> <p>(1)審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年名古屋で開催される日韓女性技術士交流会は日本の伝統的な行事紹介をし、お茶会が可能かどうかを確認し、本会議も含め準備を開始する。 ・シンポジウムで出た様々な貴重な意見は冊子及びリーフレットにまとめてサイエンスアゴラなどで配布する。 ・サイエンスアゴラの INWES-J としての作業応援のため NPO から応援を出す。 ・日本技術士会男女共同委参画推進委員会と NPO の事業分担、協力体制の整理 ・広報体制の充実 ・NPO としての受注努力をし、プロジェクトへの参加指名を積極的に行う。このためには事業フレーム等の再整理を行う。 <p>(2)報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告 1（理事長） 日本技術士会男女共同参画推進委員会のホームページができた。 ・報告 2（理事長） 第 11 回技術サロンは、震災復興支援事業で日本大学工学部の女子学生 2 名参加。 ・報告 3（理事長）

	<p>日韓女性技術士交流会（10月13日 大邱）は、日本側7名、韓国側20名参加。技術報告、チマチョゴリ試着、懇親会。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告4（理事長） <p>JWEFとの共催で実施した見学会（金町浄水場 10月22日午前）は24名（当会3名）参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告5（木村） <p>建設経済新聞への継続的な掲載は月1回の継続をめざし実施中。広くPR予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告6（木村） <p>INWES-Jの残金報告。今年の日中韓は「エコサイエンステクノロジー」（11月7から9日、ソウル）INWES-Jから菅原氏、井本氏参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告7（石田） <p>震災復興支援事業について、シンポジウムでのアンケート結果に基づきメニュー作成予定が、回収状況が芳しくないので引き続き会員へ協力を呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告8（石田） <p>サイエンスアゴラの対応はポスター、液状化の実験など進行中</p> <p>(3)その他：次回理事会 12月10日午前 場所未定 以上</p>
--	--

平成23年度 第3回理事会	
日時	開催日 平成23年8月27日（土）
出席者	<p>理事長：岩熊眞起</p> <p>理事：石田佳子、角田ふで子、酒井一江、氷上澄子、木村了</p>
審議結果の概要	<p>審議結果の概要</p> <p>(1)審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は見学会は行わない。ICWESの報告会は10月のリーダー会を候補とする。JWEFの企画には共催も検討。 ・シンポジウムの広報について、学協会などへの広報、技術士会防災委員会への広報、その他、投げ込みを検討。 ・シンポジウムのリスク回避の生活術について、事前にアンケートを行い、まとめたものを当日の意見交換に使用。実施にあってはプロジェクトを組んで進めることとする。 ・震災復興支援活動について、総会の議論を整理。今後プロジェクトを組んで実施に向けて検討。シンポジウムにおいて確認された課題も事業の参考とする。 <p>(2)報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告1（理事長） <p>第10回技術サロンは、震災復興支援事業で福島高専の女子学生2名</p>

	<p>参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告 2 (木村) 建設経済新聞への継続的な掲載決定。9月掲載分にはシンポジウムのPRもする。 ・ 報告 3 (理事長) 東京国際科学フェスティバルに当会も第4回シンポジウム、第11回技術サロンが参加。フェスティバルのチラシなどの広報資料に掲載。 ・ 報告 4 (理事長、木村) ICWES15は盛会に終了、NPO主催のワークショップは38人が参加した。 日中韓女性指導者フォーラム：第4回は今年11月7、9韓国(ソウル)で開催。INWES-Jの参加に関して情報が少なく詳細は流動的。第5回は女性教育会館(NWEC)が主導で実施。 第5回日韓女性技術士交流会：10月13日 韓国(デグ)で開催。 ・ 報告 5 (理事長) 男女共同参画委員会のICWES参加報告(WPETF)を日本技術士会の理事会で報告予定。高専教育フォーラム(8月鹿児島開催)で人材育成に関して会員が講演。ICWES15の報告会は会員の所属企業でも実施予定。 <p>(3)その他：次回理事会 10月22日午後 場所未定 以上</p>
--	---

平成 23 年度 第 2 回理事会	
日時	開催日 平成 22 年 6 月 11 日 (土)
出席者	<p>理事長：岩熊眞起</p> <p>理事：石田佳子、角田ふで子、酒井一江(委任状)、氷上澄子、木村了</p>
審議結果の概要	<p>(1)審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災への支援のメッセージ、支援活動をホームページへ掲載する。震災支援活動は、サロンへの招待、学習支援、母親支援、講師派遣など。また、これらのために、会員を中心として情報交換を行う。 ・ INWES-Jの運営委員会を構成するJWEFとの親睦会(壮行会)を実施する。 ・ サイエンスアゴラは、昨年同様の理系に仕事をベースに、震災に関連したものとしてエントリーする。 ・ 韓国女性技術士との交流のため、簡単な名簿を作成する。 <p>(2)報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告 1 (木村) 現時点 ICWES15 への参加者は 8 名、同伴 2 名。現地での当番、配布資料などは今後つめる。当会が提案したワークショップの詳細は国際部でつめているが、西洋系参加者、オーストラリア、韓国に、理事長岩熊か

	<p>ら依頼状を送付済み。なお、確定していないアメリカ、韓国は状況次第では別の人も考える。日本側は完了。</p> <p>ポスターなどには震災時の支援に対する謝辞を入れるが、復興についての情報は慎重に取り扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告2（理事長） 日韓女性技術士交流会（10月13日 韓国大邱）の日本側講演内容決定。 ・報告3（理事長） リーフレットの作成は、ICWES15を視野に入れ、英語版から着手。 ・報告4（理事長他） 新聞掲載記事について、当該機関に照会しホームページに転載する。 ・報告5（理事長） 第11回技術サロンは日本技術士会男女共同参画推進委員会の行事として行われるが、企画・実行は現状どおり当会が協力。 ・報告6（理事長） 高専教育フォーラム（8月鹿児島開催）における講演者の推薦を検討。 <p>(3)その他： 次回理事会 8月27日午前 場所未定 以上</p>
--	---

平成23年度 第1回理事会	
日時	開催日 平成23年4月18日(月)
出席者	<p>理事長：岩熊眞起</p> <p>理事：石田佳子、角田ふで子、酒井一江、氷上澄子、木村了</p> <p>監事：関矢英士</p>
審議結果の概要	<p>(1)活動報告及び予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際部 ICWES15で当会が提案したワークショップが承認された。ポスターは引き続き企画部で作成。INWES-Jの運営委員会(3月11日)において、当会担当者及び両団体の代表者は顧問的に参加することが報告された。 ・広報部 リーフレット作成検討が提案された。 <p>(2)平成22年度事業報告及び収支決算承認について 一部の文言修正ののち、資料どおり承認し、総会案内添付資料とすることとした。</p> <p>(3)平成22年度監査について 監査報告は、昨年度例に従い作成する。</p> <p>(4)平成23年度事業計画及び収支予算承認について 一部の文言修正ののち、資料どおり承認し、総会案内添付資料とすることとした。</p>

(5) 会員状況（旧会員からの移行者最終）承認について

任意団体からの移行状況の最終確認を実施し、会員資格暫定期間の終了を確認した。

(6) 定時総会開催

・電子メールでの案内、スケジュール等を確認。協力会員、賛助会員も参加しやすい配慮をすることとした。

・総会ゲストは東日本大震災を考慮し、呼ばないこととした。代わりに、5期目を迎えて会員同士の意見交換会を開催する。

(7) 次期事業実施の体制の課題について

・ホームページの運用、活動報告記載の再検討、部会活動参加者について協議した。

・技術士会の男女共同参画委員会との連携については、委員会が召集されていないことから、今後の検討課題とした。

(8) その他

・報告1（理事長）

東日本大震災で人的被害を受けた会員並びに関連する大きな被害についての情報はなかった。

・報告2（酒井）

講師予定の東京都特別区研修職員は震災のため中止となった。今後の予定は未定。

・報告3（木村）

建設経済新聞の女性技術士の会の紹介紙の開示。今後、筆者は分野を調整し指名。掲載紙を見本としてPR。

・報告4（理事長）

次回サロンは、旧組織(WPETF)で6月頃を検討

・次回理事会 6月11日午前 場所未定 以上